

12月定例会のお知らせ（予定）

一般質問

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



9月1日から5日の5日間にわたり、29名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたどりました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。



選挙での不正／学校P.Cの課題



矢口まゆ(諸派)
問 選挙ポスターの公費負担制度では不正もしくは不正に近い行為があると報道されている。不正防止のため費用の内訳記入欄を設けては。
選挙管理委員長 都の様式を参考に定めており、欄を設けることは考えていません。
問 学校のノートP.Cの修理に時間がかかるという声が多い。この原因の追求は。
指導室長 多くはメーカーについて検討していきたい。



町田市の未来／公共事業の課題



森本せいや(自由民主党)
問 物価の急騰、金利の上昇、社会変化の大きさは予想を上回る。2026年度に向けて、市政運営の考え方が示された。どうか取りを行うか。
市長 選ばれ続ける「なんだかんた言っても、町田が一番。」と思ってもらえる町をつくってまいります。時代認識、市民目線を持ちながら取組を推進してまいります。
問 更に、予算編成方針も



町田市デジタル化総合戦略ほか



松葉ひろみ(公明党)
問 「町田市デジタル化総合戦略2025」の改定ポイント。
榎本副市長 著しい進化を遂げる生成AIをいち早く行政サービスに導入するために、生成AIの活用を戦略の一つとして位置づけたことです。
問 DXを推進する上で、郵送での証明書請求について、もキャッシュレス決済の導入を求めるがどうか。
市民部長 導入自治体の状況を確証し研究していきたい。
問 都市計画道路3・4・34号線、3・4・9号線の進捗状況は。
道路部長 3・4・9号は、24年4月に事業認可を取得し、6月に用地説明会を実施しました。現在は用地取得を進めています。3・4・34号は、計画協議が完了しました。事業認可の申請中で、間もなく認可取得ができる予定です。



上小山田資源化施設／自転車



小野寺まなぶ(公明党)
問 資源化施設と周辺地域の一体的な整備についてどう考えるか。
循環型施設担当部長 基本構想では、体験学習や山林の役割を学ぶ機会の提供が掲げられ、資源化施設の会議室などが活用できると考えています。上小山田地区に整備する資源化施設は、地域で一体的に活用できる役割など庁内で連携を図り研究していきます。
問 26年4月1日から自転車の違反にも青切符が導入されることに伴い、改めて交通ルールの周知や自転車通行空間の整備が必要と考えるが、市の取組は。
防災安全部長 交通反則通告制度も、引き続き、警察とともに啓発をしていきます。
道路部長 町田市自転車ネットワーク計画では、24年度から10年間で優先整備区間を位置づけ整備を進めています。



市民病院／デバス



藤田 学(自由民主党)
問 市民病院の現状と課題への対応は。
病院事業管理者 24年度は物価高騰に伴う薬品費や診療材料費増などにより、純損失は前年度と比べ増加しました。国や都への要望に加えて、救急患者の受入れ強化や地域医療機関への訪問強化を図るなど、収支改善に努めています。
問 現在のバスセンターにおける課題認識と新しい整備の方向性は。
榎井副市長 バス待つ空間が不十分であるなどと認識しており、適正規模のバスセンターを整備し、乗降場を集約する検討を進めています。
問 デフリンピックのレガシーと(仮称)町田市手話言語条例の制定について。
榎本副市長 デフリンピックが聴覚障がいに対する関心を高め、条例の検討を進める上でよい機会と考えています。



石坂市長の進退



若林章喜(自由民主党)
問 次期市長選挙が半年後に迫っている。石坂市長は、引き続きこの街の未来を牽引する意向はあるか。
市長 私としては、今議会中に決断をしたいというふうと考えております。
問 市長20年の経験の中で、政治家として、市民の信任を得て、組織を動かすために重要と考えるリーダーの資質や姿勢はどのようなものであるかと考えるか。
市長 命令するとか、指示をするとかは極力避ける、これがリーダーの第一原則だろうと思います。職員については、はほかの自治体に人材が取られるというか、それくらいの職員を育てるというのは、リーダーの仕事だと思います。ほかの市役所に転出していくということは歓迎すべきことくらいに考えないといけないかなというふうに思います。



笑顔をあふれる町田を目指して



熊沢あゆみ(諸派)
問 (仮称)金井・葉師子どもクラブの進捗状況は。
子ども生活部長 25年8月に基本・実施設計業務委託契約の事業者をプロポーザルにて選定しました。27年1月までに基本・実施設計を完了し、27年度中に工事着工できるよう、事業を推進していきます。
問 夏休み中など、子どもたちが体験できる環境を整えたらどうか。
学校教育部長 藤の台小と金井小の適正規模を維持するため、28年度学区変更します。



安心の未就園児預かり事業



細野龍子(日本共産党)
問 本格実施される「こども誰でも通園制度」を安全に行う上で、市の役割を問う。
子ども生活部長 安全に事業を行えるよう基準などを整備して実施しており、町田市乳児等通園事業の設備及び運営の基準に関する条例を制定し、認可をしています。
問 国民健康保険税の値上げを中止すべきかどうか。
子ども生活部長 制度をい



災害避難施設にスファイア基準を



佐々木智子(日本共産党)
問 被災者の権利を保障するスファイア基準に沿った避難施設開設を求めるがどうか。
防災安全部長 トイレは、基準に沿って確保し、協定を締結した事業者から炊き出しダンボール製ベッドの供給を受けることとなっています。
問 町田市民病院の地域周産期母子医療センターの役割と近隣産婦人科との連携体制を問う。
子ども生活部長 7クラブ



中心市街地の35ま



三遊亭らん丈(自由民主党)
問 森野住宅周辺地区の土地利用計画において、音楽・演劇ホールはどのように整備するのか。
櫻井副市長 駅に近い東側エリアへ整備を目指すホールなどについて、地権者の皆様に説明し、協議を行ってまいります。今後、コンセプトを取りまとめ広く公表していきます。
問 「ゼロカーボンシティまちだ」を実現させるための取組は。
環境資源部長 温室効果ガス排出量の30年度までの削減目標を13年度比約33%削減から51%削減へ引き上げました。
問 高齢者見守り事業のうち、ICT機器による事業はどのようなものがあるか。
いきいき生活部長 見守りサービスの利用料金を12か月間支援するもので、25年4月から、対象を65歳以上の独り暮らしの方に変更しました。



高齢者が安心して暮らせる町田



佐藤和彦(まちだ市民クラブ) アンケート結果を踏まえて行った、認知症の人の家族介護者支援の取組内容は、**いきいき生活部長** 皆様の困り事の声ごとに分かりやすくまとめた「認知症の人を介護する皆様へ」というパンフレットを作成したところです。**認知症支援は、地域を巻き込み社会全体で行っていく必要があるが、市の認識は、いきいき生活部長** 今後は、

子育て世帯の声を市政につなぐ



渡辺さとし(まちだ市民クラブ) 待機児童解消に向けた保育士人材確保のための市の新たな取組はなにか。**子ども生活部長** 26 年 4 月入所から市外在住の保育士等への優先的な取扱いを開始します。保育所等への入所選考に当たり、市内で勤務する保育士等に限り、市内在住者と同等に取り扱うものです。**子育て世帯の負担軽減のため、保育認定型定期利用**

通学負担の軽減／公共交通の充実



おんじょう由久(公明党) 統合校の通学負担として、通学手段や安全確保等の検討を行う体制が必要だが。**榎本副市長** 庁内で横断的に検討を行うため、都市づくり部をリーダーとしてプロジェクトチームを設置し、検討を進めているところです。**スクールバスについて、通学時間外は地域で二次活用するよう合理的なスキームが必要だが。**

F C 町田ゼルビ他



秋田しづか(諸派) 町田駅に限らず、市内駅徒歩圏内でのスタジアム新設について、**サウンディング調査**を行ってはどうか。**文化スポーツ振興部長** 新たなスタジアムを整備する構想はありませんので、調査も必要はないと考えています。**文化スポーツ振興部長** 市が行き先を増やしてはどうか。**文化スポーツ振興部長** 市が運行しているバスを含め 26

工芸美術館への寄付金額の総額



吉田つとむ(無所属) 寄贈され収蔵するセーヴル磁器は王家の使用事例か、王家の保証書類はあるのか。**文化スポーツ振興部長** 皿とかコップの裏に時代ごとの印字があり、それをもっているの時代にできているかが証明されるものになっています。**町田市の(仮称)国際工芸美術館建設への寄付金額は、建設費相当の数十億か、数億か、数千円ほどか。**

よりよい中学校給食／宿泊行事



田中美穂(日本共産党) 「給食時間が短い」という中学生の声にこたえて改善を求めるがどうか。**学校教育部長** 南エリア中学校給食センターが開始した時点で全中学生にアンケートを取っていますので、参考にしながら検討していきたい。**給食センターの栄養士が学校と連携し給食の取組を、学校教育部長** 給食の時間に栄養士がなるべくたくさん

飼犬の対策／学校統合の見直し



松岡みゆき(無所属) 犬の防災訓練をすべき。災害時、避難所のテントにペットの同行避難はできるか。**防災安全部長** ケージを使用した同行避難訓練を予定し、テント持参の避難も可能です。**町田市のほか多摩 26 市が学校統合予定だが慎重だ。市は拙速過ぎで見直しを。学校教育部長** 全国的な課題に真っ先に向き合い、先を見据えて、全市的な規模で計画的に取組を進めています。

学童クラブの夏休みの昼食提供



いわせ和子(選ばれる町を志す会) 鶴川エリアの学童保育クラブの昼食提供の本格化、他地域でも取組を。**子ども生活部長** 給食センターの事業者や学童保育クラブの運営事業者と共に検証を行います。検証結果や、保護者や児童に実施したウェブアンケートの結果を基に、鶴川エリアでの昼食提供の本格実施や、他地域の学童保育クラブでも昼食提供が可能になる

町田市民病院に救急科の設置を



おぜき重太郎(諸派) 24 年度の救急車による受入れ患者数が前年度を下回ったのは、なぜですか。**市民病院事務部長** 救急隊からの要請件数が 23 年度と比較して減少したこと、また、24 年 4 月から施行された医師の働き方改革も、減少に影響があったものと考えています。**次期「町田市民病院中期経営計画」に救急応需率の目標値を設定し、受入れ向上**



南エリア中学校給食センター

[illegible]

審査から 令和 6 年度 決算を審査

本定例会では、決算についても各常任委員会で審査しました。各常任委員会では活発に質疑が行われ、決算審査の結果「認定すべきもの」と決し、多数の意見が付されました。

健康福祉

9月11日・12日・19日に
議案6件、認定2件、請願
1件の審査を行いました。

総務

8月27日・9月11日・12日
・19日に議案11件、認定
1件の審査を行いました。

町田市高齢者ホーム出張調髪利用券の発行継続に関する請願
委員 市の立場としても利用者とか家族とか、そういった方々からヒアリングしているのか、意見を聞いているのか。
高齢者総合相談担当課長 利用者やご家族のご意見を聞いているかというところですが、これは施設を通じてになるところになります。利用券により調髪料金の自己負担が減るので助かるという声や、利用券の枚数を増やしてほしいという声があることを聞いています。
委員 特養の中で介護度4、5の方だけ残すというような議論は検討されたのか。
高齢者支援課長 施設に入所されている方の散髪の場合

計画駐車場を廃止する予定はありません。そのまま駐車場の位置づけとしては残るということです。
委員 駐車場として使えないが、それはどういう意味合いがあるのか。
産業政策課担当課長 駐車場整備地区の中で、こちらには、この駐車場が必要だということでも都市計画決定した駐車場というのが、そもそものこの原町田一丁目駐車場の成り立ちです。今回、公の施設としては廃止、供用が老朽化で閉鎖してしまうので、条例上は廃止してしまいましたが、この場所に駐車場が必要であるという認識は変わりませんので、今後、法定再開発などを検討している間、検討する際には、建て替えも含めた形で駐車場を残すということも検討していく予定です。

決算審査（健康福祉） 認定すべきものと決定

- まちだ福祉〇ごとサポートセンターにおいて、これまで行政に関わっていなかった方にもアプローチを行い困りごと相談につなげられたい。
- 「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」の認知度向上のため、市民へのさらなる周知とともに、障害の社会モデルを前提にした対応を全庁が率先して推進されたい。
- 施設が老朽化していることから緊急修繕を行い、予算がかさんでいる。関係各位と協議を行い、計画的な修繕計画、長寿命化を図られたい。
- ためらわずに生活保護の相談や申請ができるよう生活保護制度の周知を広く実施されたい。
- 外国語の母子手帳を希望する方には、適切な情報提供、通訳など、他部署と連携しながら、サポート体制のさらなる拡充を図られたい。
- 支援に必要な妊婦へ児童福祉部門と母子保健部門の両課で一体的な支援を図り、出産・子育て応援交付金事業による伴走型相談支援、経済的支援をより活用するなど、妊娠期から引き続き切れ目のない支援を行われたい。また、行政につながない孤立した妊婦へのアプローチを今すぐ検討し、支援につなげられたい。
- 男性向けHPVワクチン任意予防接種事業については、国の定期接種化に向けた動きに注視し、学校での教育等についても研究されたい。
- 適正な保険診療が行われるよう努められたい。
- 認知症家族介護者支援については家族介護者の意見を踏まえながら新たな取り組みの構築に向けて検討されたい。
- 国保税、介護保険料、後期高齢者医療保険料滞納者に対しては丁寧な分納相談、他部署と連携して生活再建の支援につなげるよう努められたい。

【認定第3号】

- 町田市民病院は、ICU、HCUなど高度急性期病棟、NICUなどの地域周産期母子医療センター、そして小児病棟を有しており、いずれも市内で唯一の施設である。町田市民だけでなく、南多摩医療圏の中で重要な役割を果たすべく、地域の医療機関や救急隊、関連する施設の方々と協力しながら、救急、周産期、小児などの医療を安定的に提供できる環境づくりに一層取り組まれたい。
- 小児入院病床については、一般病棟での対応にとどまらず、増床についても検討されたい。

など計71件の意見を附帯決議として付しました。

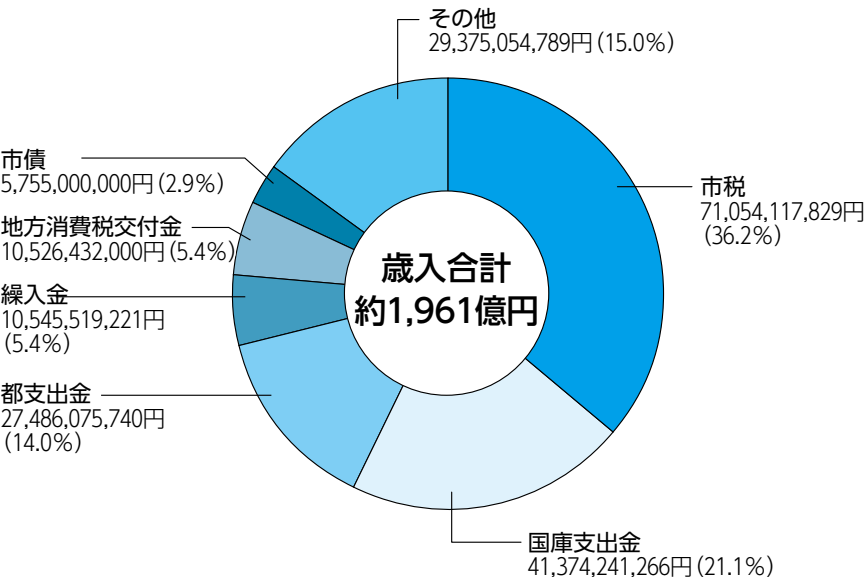
決算審査（総務） 認定すべきものと決定

- 権限の移譲、もしくは返還について、市民生活の利便性向上や財政的な負担の軽減についての視点での取り組みをより進めるために、他自治体の事例もふまえ、専門的に研究を行う個別の事業として立ち上げを検討されたい。
- 障がい者雇用率未達成を早期に改善されたい。
- 職員表彰については、市の職員がどのような事業でどのような成果を残したのか等、市民にもより広く伝えられるものとされたい。
- 年次有給休暇取得の目標設定にあたっては、取得日数のみならず、取得率についても検討されたい。
- 工事等成績評価に関しては、その苦情の申し立て先である町田市工事等成績評価苦情審査委員会において外部の有識者等を委員にする必要性はないか、検討されたい。
- 財政調整基金の目標額は達成しているものの、26市と比較し、市民一人当たりの残高は低い。各基金に関し、常に適切な目標額を設定し、積み立てに努められたい。
- 町田市民のふるさと納税による寄附金税額控除額と他自治体の市民によるふるさと納税額の差の縮小に努められたい。
- 低未利用地取扱のガイドラインを作成するとともに、低未利用地の売却に関して、他自治体の先進事例も調査し、写真なども活用した情報を発信し、その売却を促進されたい。
- 法人市民税の未納相談に関して、相談者に対してできるだけ丁寧に対応し、納税漏れが起きないように努められたい。
- 生産緑地については、その管理が不適切である場合に、どのような状況が何年続くことで課税地目の変更になるのか等、具体的な基準の必要性について検討されたい。
- 町田市勤労者福祉サービスセンターの被雇用者と個人事業主の会費差を解消されたい。
- 七国山ファーマーズセンター事業については、老朽化もしてきており、今後の活用方針を定めて民間活力を活かした整備運営を検討されたい。
- 民間で運営される市内コワーキングスペースに関して、町田新産業創造センターとタイアップした事業を取り組み、幅広い創業の支援を図られたい。
- 在宅避難また、備えについて、市民理解が進むよう取り組み願いたい。また、あわせて、物資の提供が受けられるしくみづくりを構築されたい。
- 消防器具置き場の機能充実に努められたい。
- 消防団退団者を対象としたアンケートを分析し、消防団員が活動しやすい仕組み作りに努められたい。

など計61件の意見を附帯決議として付しました。

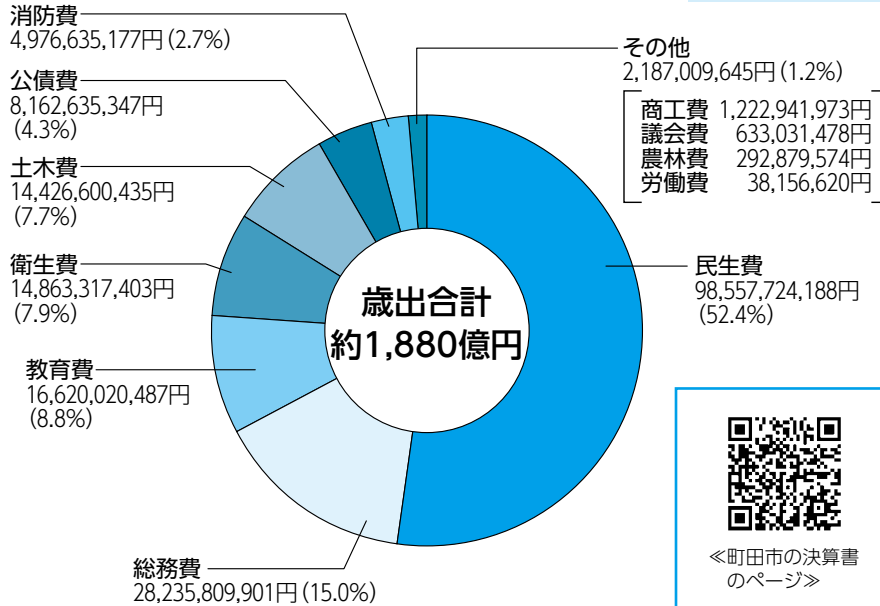
令和 6 年度 歳入決算額の内訳（一般会計）

歳入合計額
196,116,440,845円



令和 6 年度 歳出決算額の内訳（一般会計）

歳出合計額
188,029,752,583円



≪町田市の決算書のページ≫

付託された議案等を審査委員会

町田市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各常任委員会の主な審査状況をお知らせします。

建設

8月27日、9月8日・9日・10日・17日に議案7件、認定2件、請願1件の審査を行いました。

令和7年度（2025年度）町田市一般会計補正予算（第3号）
（町田市バイオエネルギーセンター施設火災復旧事業）

委員 今回は不可抗力のところであり、過失も事業者にはないという中で、費用負担はどのようにされたのか。

循環型施設管理課担当課長 契約書の中に不可抗力の事象が起きたときには、損害について運営事業者と市の間で協議をしようという規定があります。この規定に基づき、費用負担の話し合いをした結果、1%のご負担を上限にいただけたということで、計上した費用となっています。委員 発生2回目の事業者負担はゼロだったが、どのように決定したのか。

文教社会

8月27日、9月9日・10日・16日・17日に議案13件、認定1件、請願3件の審査を行いました。

成瀬子どもクラブの指定管理者の指定について

委員 子ども会議みたいなものをつくっていくということだが、どのような形で子どもクラブの運営に関わっているのか。それから、地域貢献を大変高く評価されたが、内容について教えてほしい。

児童青少年課長 子ども会議は、毎月1回開催して、活動のルールやイベントの企画について子どもたちが話し合い、計画、準備、実行、振り返り、改善を行い、自ら積極的に取り組む、活動していくというような形でご説明をいただいているところです。地域貢献のところでですが、特に評価いただいたところは、成瀬コミュニティセンターの登録団体との交流プログラムをご提案いただいているところです。

循環型施設管理課担当課長 全国市有物件災害共済会の共済金がほぼ全額当たること、ゼロ円となっています。

委員 共済金がどこまで補償の範囲になるということか。

循環型施設管理課担当課長 火災によって損害が出る前の状況に戻すところまでの部分です。散水ノズルですとか、ガス検知器ですとか、難燃性のゴムベルトだったものを鉄製のコンベヤーに変える、そういう火事起きてても損傷しにくいような状況を機械の改造をすることによって作り出しているところは共済金に当たりませんが、1度火事が発生してしまっごみ処理が止まってしまうと、いろいろな方面に影響が出ますので、そういったところを中心に対策をした部分が再発防止策になると考えています。

町田市スポーツ施設条例の一部を改正する条例

委員 パラアリーナ整備に当たっての料金設定の考え方と、パラアリーナ自体が市として障がい者スポーツの振興などもあるが、そういった目的に沿う形で、どのような配慮が行われているのか。

スポーツ振興課担当課長 基本的には既存の市立総合体育館やサン町田旭体育館と同様の利用料金等を設定しています。アリーナの利用料金に関しては、市立総合体育館のメインアリーナの利用料金を面積で割り返した1平方メートル当たりの単価に基づいて算出をしています。

スポーツ振興課長 今後、優先予約の順位をパラスポーツ団体を優先するところで區別していいこうと思っています。

決算審査（建設）
認定すべきものと決定

- 指定喫煙所について、新たな受動喫煙対策の具現化を急がれたい。
- 駅周辺でのポイ捨てごみ収集員（シルバー人材センター委託）の夏場の業務にあたっては、熱中症対策を講じられたい。
- 剪定枝資源化センターについては、利用状況の減少、運営費の上昇、設備の老朽化の状況などを踏まえ、そのあり方を含めた今後の抜本的な見直しをされたい。
- リチウムイオン電池の混入防止に向け、啓発活動に加え選別方法の探求と、回収方法の充実を推進されたい。
- 自然災害に備えた道路部職員による研修会を継続し、充実されたい。
- 道路に関する通報も増えており、予防保全を組み入れた効率的、効果的な維持補修と事後保全のバランスを考慮しつつ、必要なリソース、予算を確保されたい。
- 町田市街路樹更新計画推進にあたっては、地域住民への周知と協議を重視されたい。
- まちだベジハブを持続可能な取組するために、農業振興課や関係団体と有効な意見交換を行われたい。
- 相原駅東口まちづくりについては、民間資本の導入等を含め様々な手法を検討し、民間の土地と駅前交通広場等の公共施設の土地利用が一体的に図れるよう、連携して進めていただきたい。
- キッチンカー出店実証実験は、実証実験の結果を鑑み、今後は出店者・利用者の満足度をさらに高められるよう、継続事業として事業の質の向上に努められたい。
- 野津田公園事業について、有料施設以外の利用状況を把握し公園運営や整備に活かされたい。
- 支え合い交通は、公共交通を補完する重要な役割があり、これから取り組もうとしている団体もあるので、サポートをしながら増やしていけるよう努められたい。
- 市民バス、コミュニティバスの運行にあたっては、地域ニーズに沿った利便性向上とともに、利用する目的を創り出す取組も充実されたい。
- みちづくり・まちづくりパートナー事業（都計道3・4・11号（原町田））にあたっては、地権者や借家権者に寄り添った対応をされたい。
- 有効な空き家対策を実施するため、引き続き予防対策と迅速な対処に努められたい。

【認定第2号】

- 昨今の物価高騰・労務単価の上昇、そして老朽化の状況を精査し、効率化・経費削減などの不断の経営努力を行うことで、市民の負担が増加しないよう努められたい。

など計31件の意見を附帯決議として付しました。

決算審査（文教社会）
認定すべきものと決定

- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について、保護者負担額軽減のため、教材費等にも使用できるよう、国に申請されたい。
- 多摩26市の町内会・自治会を担当する職員の交流会を引き続き開催し交流されたい。
- 「公有財産（普通財産）の未使用地の状況」について、23年度と比べ、今後の計画が8件中3件具体的に進展した。庁内の各部との連携を取り速やかな推進を図られたい。
- 園と園医の意見交換会は、保育現場における児童の健康管理に資する事業であり、継続されたい。
- 保育士確保について、有資格者の低就労や低所得対策など、関係団体を含めたプロジェクトチームとより連携を図り、市としての処遇改善も含め、抜本的な方策を講じられたい。
- 各子ども食堂に支給する補助金は、申請に応じた金額を継続されたい。また支給時期を早めるよう努められたい。
- 冒険遊び場活動補助金について、物価高騰や人件費増などの社会状況を考慮し、補助金の金額について各運営団体と協議し対応されたい。
- 消費者被害防止のため、日進月歩で変わりゆく消費者課題に素早く取り組み、さらなる情報提供の強化に努められたい。
- スクールロイヤーの利用状況の「保護者・地域からの要求」について、年度毎に要求件数の変動がある。複雑化になれば利用状況は増える。複雑化する前に関係者との初期対応をスピーディーに取り図られたい。
- さらなる教員の事務負担軽減を進め、相談時間や個別学習サポート、地域や保護者への説明など、教育の質の向上を図られたい。
- 「端末を授業活用できる児童の割合」について、活用状況の差が能力や自信の差に繋がるので、活用できない児童については置いていかれない対策をより丁寧に対応されたい。
- タブレットの持ち帰りについて、重い荷物を持つことによる心身への負担や学力などへの影響を研究されたい。
- 不登校児童の学びの場として、学びの多様化を目的に児童のニーズに応えられるような仕組みを検討されたい。
- 相模原市との連携講座「まちの歴史、さがしてみました～まちさが考古学講座～」は引き続き継続されたい。
- 全国大会等に出場する選手達の励みになるような支援を充実されたい。

など計80件の意見を附帯決議として付しました。

【付議事件① 議員の調査活動等に関する事項】	
・ 決算参考資料の精査について	
議会運営委員会で、任期中に1度は精査することを申し入れることとする。(2025年3月24日決定)	
・ 政務活動費について、政務活動費の「按分の考え方」を精査すべきについて	
町田市議会政務活動費使途基準の運用指針を一部改正することを決定する。(2024年12月18日決定)	
【付議事件② 議会の権能・機能強化に関する事項】	
・ 議案説明会(録画配信)について	
配信の条件が整ったため、令和6年(2024年)第1回定例会から試行することを決定する。(2023年12月11日決定)	
・ オンラインによる委員会の開催について、オンライン委員会(常任・特別・災対)について	
実施に向け、町田市議会委員会条例及び町田市議会会議規則の一部を改正する議案を議会運営委員会から発議していただけるよう申し入れることとする。(2023年2月6日決定)	
オンライン委員会について必要な事項を定めた「町田市議会オンラインを活用した委員会の開催について」を決定する。(2023年2月28日決定)	
本件の対象に「災害」を加えるため、町田市議会委員会条例の一部を改正する議案を議会運営委員会から発議していただけるよう申し入れをすることとする。(2023年6月5日決定)	
「町田市議会オンラインを活用した委員会の開催について」の出席対象事由に「災害」を加えることを決定する。(2023年6月14日決定)	
【付議事件③ 議会の情報提供に関する事項】	
・ 議会中継の字幕配信について	調査報告書 掲載ページ→ 
導入することを決定する。また、決定したことを議会運営委員会に報告する。(2023年9月29日決定)	

第17期町田市議会改革調査特別委員会調査結果報告

8月27日の本会議において、調査の経過及び結果の報告を行い、調査報告書のとおり全員一致で可決されました。

【調査の目的・経過】

本委員会は、町田市議会のあり方についての議論を深め、議会の権能・機能強化及び議員の調査活動等について改革を進め、活性化を図るため、令和4年6月30日に設置され、以降、合計27回の委員会を開催してきました。

【調査・検討の結果】

内容については、調査報告書から抜粋した左表をご覧ください。

なお、詳細については、町田市議会ホームページ上の、調査報告書をご覧ください。

～常任委員会の活動状況～			
町田市議会では、常任委員会の活動として、市内の各種団体の皆さんと懇談会を開催し、市民と議会の意見を交換する場としています。懇談会で出された意見については、議会活動に反映させていただきま。10月までに開催した懇談会は次のとおりです。			
日付	団体名	内容	対応した常任委員会
9月22日	特定非営利活動法人東京養育家庭の会みどり支部町田	養育家庭についての意見交換	文教社会
9月29日	町田市障がい児者自立支援研究・研修会	福祉避難所への直接避難について 等	総務

UD FONT